

Ecological Study of *Gyrophora esculenta* MIYOSHI on Mt. Jiri in Korea

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.24517/00056329 |

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



神谷 平*・金 在生**：韓国智異山の岩茸とその生態

Taira KAMIYA and Jai-saing KIM**:

Ecological Study of *Gyrophora esculenta* MIYOSHI on Mt. Jiri in Korea

韓国における岩茸の研究はまだ曙期で、採集の記録はあるが生態学的な研究報告はない。それに反して、日本では多くの産地が知られ、さらに分布・生態学的な研究が進んでいる。筆者らはそれに準じて韓国智異山のイワタケの産状を調査するために筆者の一人金在生が1978年9月23~25日に登山して調査した。

今まで韓国に知られている産地 (Fig. 1) は佐藤正己博士によると、1) 京畿道北漢山 (1936, 佐藤月二), 2) 江原道雪岳山 (1936, 中井猛之進), 3) 同, 頭無山 (頭陀山の誤り?) (1938, 猪熊泰三), 4) 忠清北道俗離山

全羅南道内藏山 (金盛會), 9) 慶尚南道智異山 (1940, 藤正己), 10) 同, 天皇山表忠寺 (1911, 草野俊助) の10か所である。なお北朝鮮(北韓)には江原道金剛山 (1939, 佐藤正己), 平安北道妙高山 (1938, 佐藤月二) など知られている。

智異山産イワタケの大きさは径5~8cm, 小型であるが縁辺の切れ込みが多かった。これを佐藤正己博士に同定をお願いしたところ、日本で分布の広い東亜特産のイワタケ *Gyrophora esculenta* MIYOSHI であるが、環境によるもので小型のものによくある型とのことであった (Fig. 2)。

智異山は韓国南部の中央にあり、全羅南・北道と慶尚

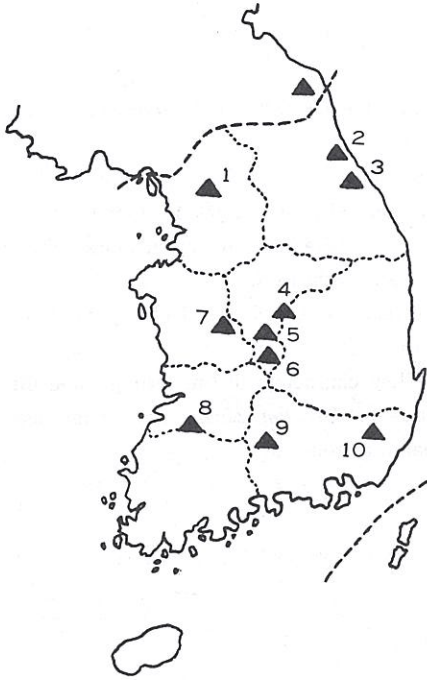


Fig. 1. Distribution of *Gyrophora esculenta* in Korea. The 9th location is Mt. Jiri.

(1959, 金盛會), 5) 同, 月岳山 (金盛會), 6) 同, 文縹峰 (金盛會), 7) 忠清南道鷄龍山 (金盛會), 8)

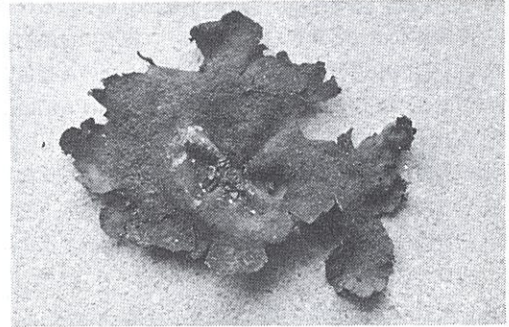


Fig. 2. Specimen of *Gyrophora esculenta* collected from Mt. Jiri, Korea.

南道との道界にある般若峰の東にあり、標高1915m, 全山ほとんど広葉樹林に被われ、昔日本の九州大学の演習林のあった山である。当時はうっ蒼とした山林であったが朝鮮動乱(韓国動乱)のとき皆伐され、今は回復成長期になっている。イワタケの成育場所は南智異山の南側中腹にある古刹七佛寺(現在は七佛庵)から東北約8km離れた所で、地名は慶尚南道河東郡花開面凡旺里である。この七佛寺は約1500年前、朝鮮三国時代の伽倻国、当時の首露王が疫病で死んだ7人の息子を祀るために創建した由緒ある寺である。また、この山の南山麓にある華嚴寺は828年に双溪寺とともに韓国で始めて茶の種子を蒔いた寺である。筆者の1人神谷は1938年の秋に七佛寺で

* 〒446 愛知県安城市福釜町荒子95 95 Arako, Fukama, Anjo city, Aichi Prefecture, 446 Japan

** * 620 韓国慶尚南道晋州市七岩洞92

92 Chilam-dong, Jinju city, Gyeongsangnam-do, 620 Korea

韓国立慶尚大学校農科大学林学教室

Department of Forestry, Gyeongsang National University

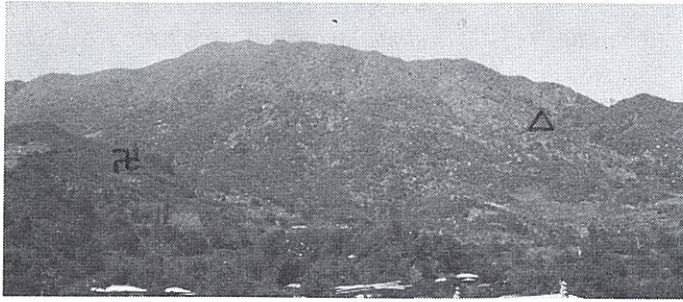


Fig. 3. A view of Mt. Jiri. The site of *Gyrophora esculenta* is indicated by an open triangle.

イワタケの料理を食べたことがある。

さて、産地の現状であるが、南智異山東側峰筋の中腹、海拔 800 m の位置 (Fig. 3) にある高さ 30 m ほどの花崗岩の岩塊で露岩の上部に成育している。岩は南向きで日当りのよい岩上に散生し、附近の林相は 20~30 年生の林で、主要樹種はアカマツ (陸松)・クロマツ (海松)・カシ類のアベマキ・カシワおよびネムノキなどの針葉樹と落葉広葉樹の混交林である (Fig 4)。

韓国では岩茸のことを石衣の字を当ててシャッキ (Sheakki) と発音し、石についている地衣の意味と思われる。この地方では産地と利用方法を知っているのは老人だけで、時おり少しずつ採集して薬用か珍客のあった時、またはお祭や慶用の時にまれに食べる程度である。



Fig. 4. *Gyrophora esculenta* growing on the rock in a site on Mt. Jiri, Korea.

薬効は胃腸病や赤痢・神経病などに効果があるといわれ、600 g 1 斤、韓国円で 2 万円で売られたこともあるという。しかし、生産物として市場に出されたことはない。料理方法は汁物・野菜の漬物 (キムチ) に用いられ、汁物は韓国風の汁で、酢のものは食酢に胡麻油・唐辛子・胡麻などを入れ、さらに化学調味料を入れて

作る。キムチには野菜の上ののせて飾る程度である。

日本におけるイワタケの生態学的な調査は海拔・沿岸か内陸か、岩質・傾斜角度などが調べられ、特に山中・吉村の詳細な生態研究がある。海拔は普通 1000 m 以下の低山性で、岩質は主に花崗岩であるが、石英粗面岩や秩父古生層の岩石、まれに安山岩に着生すること、イワタケの形・大きさ・子実器・粉芽・針芽の有無も調べられている。また傾斜角は垂直に近い崖面に多いとされ、岩面の方位と頻度の関係も調べられている。

筆者のうち神谷は愛知県の各地を調べた結果、鳳来寺山では水平に近い緩斜面にも沢山着生していることを確認しており、日当りのよい所に多かった。元来、イワタケはイワヒバと同様に乾湿によって巻き上ったり拡がったりして成育している。これは雑菌の侵入による腐敗を防ぐ自衛手段とも思われる。そこでイワタケの着生方位を調べてみると南面に多く、次いで東面で西面がこれに次ぎ、北面には全然見られなかった。この結果は山中・吉村の南・西・東の順で略一致している。また樹陰のない所に多いが、愛知県の棚山では東面の樹陰の垂直の岩面にも成育していた。これは落葉広葉樹林下で、春から秋に日陰になるが、晩秋から冬は午前中日当りがよいためと思われる。また鳳来寺山で杉林の中に南面断崖にわずかに成育していたが、樹間をもれる光を受けて成育し小型で、かろうじて生存していた。なお、このような樹陰で成育するイワタケは夏・秋の乾燥期でも岩肌の湿気によって開いたまま緑白色で、前記棚山や広島県の三段峡で見られた。

以上のような生態観察の結果、日照量の少ない成育地は稀で、ほとんどは日照量の多い所に成育がよく、数も多いところから前述のイワヒバや屋根瓦上のウメノキゴケのように陽性・乾地性地衣と考えられ、山中・吉村の調査結果と一致し、智異山はその典型的なところである。

なお、韓国は花崗岩の山が多く、岩塊の露出した山も多いので、精査すればまだまだ新産地を発見することができ、かつ生態調査に好適な所が発見されるものと思われる。

参考文献

- 朝比奈泰彦, 1931. イワタケとタカネイワタケ. 植研, 7: 143-146.
- 朝比奈泰彦, 1939. 日本陰花植物図鑑. 三省堂. pp. 694-701.
- 朝比奈泰彦, 1960. 東三河の地衣相. 蘚苔地衣雑報, 2 (3): 29-32.
- 生駒義博, 1956. 中国地方イワタケの分布と生態. 蘚苔地衣雑報, 1 (3): 2-3.
- 神谷 平, 1978. 韓国と愛知県のイワタケ. 植物と自然, 12 (4): 25.
- 加藤君雄・熊谷 隆, 1960. イワタケは秋田県にも産する. 蘚苔地衣雑報, 2 (2): 18-19
- 小林 勝, 1957. 福島県下のイワタケ産地. 蘚苔地衣雑報, 1 (9): 2.
- 黒川 道, 1960. イワタケについての話題. 蘚苔地衣雑報, 2 (2): 16-17.
- 黒川 道, 1974. 始めて天然記念物に指定された地衣「オウラヒダイワタケ」ライケン, 2 (1): 3-4.
- 佐藤正己, 1955. イワタケの分布. 蘚苔地衣雑報, 1 (1): 2.
- 佐藤正己, 1955. イワタケの産地追加. 蘚苔地衣雑報, 1 (2): 2.
- 佐藤正己, 1958. イワタケの分布と生態. 植研, 33: 110-115.
- 佐藤正己, 1959. イワタケの分布と生態. 蘚苔地衣雑報, 1 (22): 14.
- 佐藤正己, 1960. 三陸沿岸地帯におけるイワタケの分布. 蘚苔地衣雑報, 2 (4): 46-49.
- 佐藤正己, 1977. イワタケ物語. 植物と自然, 11 (11): 10-13.
- 高木典夫, 1957. 東京都下のイワタケ分布. 蘚苔地衣雑報, 1 (12): 3-4.
- 田仲善二, 1955. 大和大峯山の地衣類. 地衣学雑報, 13: 49-50.
- 山中二男・吉村 庸, 1961. イワタケ群落についての二三の観察 (珪岩上の植生 3). 植研, 36: 193-200.
- 山中二男・吉村 庸, 1962. イワタケ雑談 — とくにその食べ方. 蘚苔地衣雑報, 2 (10): 151-152.

摘要

本研究の目的は地衣類の1種イワタケ *Gyrophora esculenta* MIYOSHI の生態的調査である。この地衣は日本語ではイワタケ、韓国語ではシャッキといわれている東洋特産のもので、韓国では日本と同様に料理にされ医薬にもされているが、特に韓国人には大変高貴な料理として尊ばれている。

地図に示したように韓国では多くの地理的分布が既に知られている。これらのうち、智異山は筆者らの1人である金によって生態学的に調査された。そのうえ、他の筆者である神谷は中部日本の生態的研究と比較した。

本研究の結果、筆者らはその分布が岩塊の南側に多く、次は東と西側であるが北側の部分には全くなかったことが分った。これは日本のように韓国の智異山も全く同じであった。

それ故、筆者らは、イワタケはシダ類の1種イワヒバ *Selaginella involvens* SPRING のように陽性で乾性の地衣である、という結論に達した。

Summary

The purpose of this study is to investigate the ecology of *Gyrophora esculenta* MIYOSHI, a lichen species. This lichen is one of the oriental specialities, which is named "Iwatake" in Japanese or "Sheakki" in Korean. It is often used in dishes in Japan, but also used as a drug material in Korea.

As shown in the map (Fig. 1), many localities of this lichen have been recorded in Korea. On Mt. Jiri (Mt. Chii-san in Japanese), the ecology of this lichen was studied by Kim. Kamiya has undertaken a comparative field survey of this lichen species in central Japan.

As a result of this study, the present authors found that *Gyrophora esculenta* mainly occurs on the southern side of rock masses, but less frequently on east and west sides, and actually no occurrence on the northern side. This tendency was the same on both Mt. Jiri in Korea and mountains in central Japan. Thus, *Gyrophora esculenta* is a lichen species which mainly occurs on sunny and dry sites on the rocks, just comparable to a fern species, *Selaginella involvens* SPRING.

○ 茨城県植物誌 鈴木昌友・清水 修・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也共著。B5版, 340頁, 定価4,800円。昭和56年9月, 茨城県植物誌刊行会(代表者 安 昌美, 〒310 水戸市見和2-186-2発行。

著者の一人, 鈴木昌友氏等によって「茨城県植物目録第一版」が出版されたのは, 昭和31年(1956)である。本書は, それ以来茨城大学を卒業された共著者等が, 鈴木昌友氏を核とし, 強固な団結のもとに気ながく増補訂正を続けて来られた。それ故に, まさに茨城県植物目録の決定版ということができよう。(里見信生)